

摂南大学融合科学研究所論文集の発刊にあたって¹

Inauguration of Bulletin of the Transdisciplinary Science Research Institute

森脇俊道 摂南大学理工学部 部長・理工学研究科 長

MORIWAKI, Toshimichi Dean, Faculty of Science and Engineering,
Graduate School of Science and Engineering, Setsunan University

摂南大学理工学部は、2010 年にそれまでの工学部を改組し、新たに発足しました。具体的には、生命科学学科、住環境デザイン学科、都市環境工学科を新設し、工学部マネジメントシステム工学科、および同都市環境システム工学科の2学科の学生募集を停止しました。新生理工学部においては、様々な教育改革を断行し、教育の改善に努めてきました。例えば、工学系の全学科で JABEE（日本技術者教育認定機構）の認証を得ることはその一例と言えます。さらに本学では大学院理工学研究科を整備し、博士後期課程（創生工学専攻、生命科学専攻（2016 年度より））、及び博士前期課程（社会開発工学専攻、生産開発工学専攻、生命科学専攻）の充実を図ってきました。

他方、摂南大学理工学部の教員は、これまでも独自に自らの信念に基づいた研究を進め、成果を上げてきています。しかしながら教員の研究はどちらかといえば個人研究が主であり、必ずしも学部や大学院としてまとまった研究体制が整えられていたわけではありませんでした。そこで教育体制の整備に次いで、学部・大学院としての研究体制を整備、強化するため、学内に研究所を設置することとしました。本学にはこれまで研究所は皆無であったため、先ず学部内に融合科学研究所を立ち上げ、実質的な研究活動を始めました。

融合科学研究所とは、Transdisciplinary Science Research Institute を意味し、学部・学科の壁を超えて、広く教員が研究協力し、融合した研究を実施することを念頭に置いています。本学部のように規模が小さな学部では、教員が単独で研究を行うよりも、そうすることによって他では得られない優れた研究成果を上げることができると考えます。またそれが本学部・研究科の研究の特徴でもあります。幸い本研究所は、2015 年 4 月より学則上も本学部の付置研究所として正式に認知され、発足することとなりました。

これを機会にこれまでの教員の個人研究も含め、本学部・研究科の教員の研究成果を融合科学研究所論文集として取りまとめることとしました。本論文集に掲載する論文は、研究論文、総説、解説、研究報告、その他とし、オリジナルな論文であることを担保し、さらに論文の質を保証するために、分野が近い二人の校閲者による校閲を行うこととしました。また 2013 年度に発刊し、本学部教員の研究成果、社会貢献などを取りまとめた研究成果報告集も合冊とすることとしました。すなわち本報告集は本学部教員の教育以外の活動報告の集大成といえることができます。

摂南大学理工学部および理工学研究科は、これを機に更なる発展を遂げ、建学の精神に謳われている、世のため、人のため、地域のために「理論に裏付けられた実践的技術を持ち、現場で活躍できる専門職業人の育成」を目指すともに、地域における中核大学の一部局として、地域社会に貢献して行く所存です。本研究論文集に対して、忌憚のないご意見・ご批判をいただければ幸いです。

¹ 【原稿受付】 2015 年 9 月 21 日